

## 市町との連携による健康生活応援店の認証拡大に向けた取組

東部厚生環境事務所・保健所福山支所  
 ○真田美紀，北川雅典，廣中真里，  
 渡邊鈴子，石川奈美恵，丸本悠加

### I はじめに

#### 1 県民の健康づくりを応援する健康生活応援店

健康増進法（平成 14 年 7 月制定）第 8 条に基づき，県では健康ひろしま 21 を策定し，現在，第 2 次計画（平成 25 年度～平成 34 年度）を推進している。

健康ひろしま 21 の取組として，健康的な生活の推進と健康に配慮した環境整備を図る目的で，平成 15 年 1 月から「健康生活応援店」の募集が開始された。健康生活応援店の内，食生活応援店の認証店舗数の目標値を次のとおり掲げている。（表 1）

府中市においても食育推進計画（第 2 次）に健康生活応援店の目標を 30 店舗と定め，飲食店等への働きかけを積極的に進め，平成 27 年度末にこの目標を達成している。

（平成 28 年 3 月末現在 32 店舗）

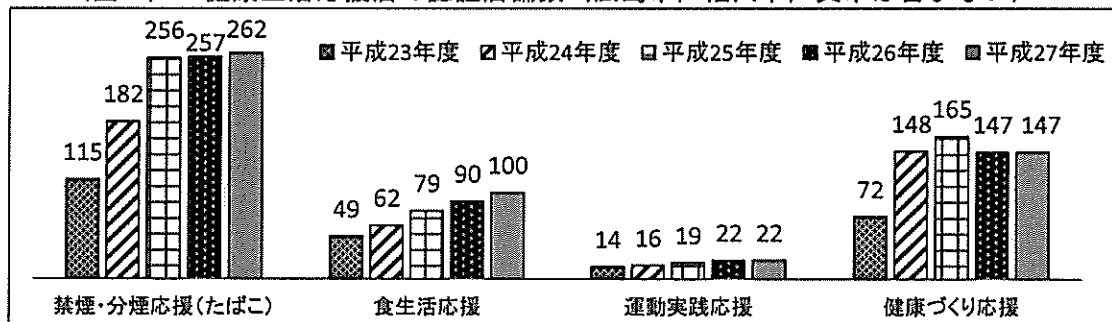
（表 1）健康生活応援店の認証店舗数を指標とした目標値

	現状値（計画時）	目標値	計画名
広島県 （広島市，福山市，呉市含む）	559 店舗 （食生活応援）	620 店舗 （食生活応援）	健康ひろしま 21（第 2 次） 広島県食育推進計画（第 2 次）
府中市	18 店舗	30 店舗	府中市食育推進計画（第 2 次）

#### 2 健康生活応援店の認証店舗数の推移

健康生活応援店のうち禁煙・分煙応援の認証店舗数は全体の約 5 割を占めている。これは世界禁煙デー及び禁煙週間における行政機関，関係団体の普及啓発や，平成 24～25 年の 2 年間実施した「受動喫煙防止普及啓発事業」等の取組による影響が考えられる。（図 1）

（図 1）健康生活応援店の認証店舗数（広島市，福山市，呉市は含まない）



#### 3 県民の食塩摂取量の減少に向けた新たな取組

健康ひろしま 21 における栄養・食生活改善対策の減塩対策については「広島県食育推進計画（第 2 次）」の中で，具体的な対策を講じることとしている。

その対策として県は，平成 27 年 12 月に「1 日の食塩摂取量の減少」を促進するため，健康生活応援店の食生活応援に係る認証基準等を次のとおり改正した。

（1）認証項目の追加：「塩分控えめ推進・応援」を加える。

- (2)「塩分控えめ」認証基準の変更:1食分の食塩相当量3g以下から2.6g以下に。  
(3)ステッカーの追加:通称「塩分カットばせ!応援店」認証店に追加交付する。  
(図2)健康生活応援店のステッカー (図3)新たに追加されたステッカー



## II 健康生活応援店に係るこれまでの取組状況

### 1 当所における取組

健康生活応援店の普及啓発の取組においては、直接、飲食店を訪問したり、関係者から該当する店舗の情報提供を受けたり、各地区の食品衛生協会等の関係機関から協力を得ている。

しかし平成25年度県民・健康栄養調査によれば、健康生活応援店の認知度は7.9%と低い状況にあり、管内市町の店舗数(府中市、神石高原町)は、平成28年7月末現在で42店舗である。

これらの現状を踏まえ、平成26年度、東部保健所及び福山支所管内の認証店に対し実施したアンケート結果から、健康生活応援店が拡大に至らない課題を次のとおり整理した。

(課題1) 健康生活応援店の認知度が低いため、集客につながらない。

(課題2) 店舗情報の広報について

県のホームページに店舗情報が掲載されているが、店舗及び利用者のニーズに対応した紹介内容になっていない。

(課題3) 認証店舗における同業者に対する認証勸奨の働きかけが少ない。

利用者の反応が薄いため、認証店舗の事業者自身の関心が低くなっている状況がある。同業者間での取組状況や利用者の反応などについて情報共有する場が必要である。

これらのことから健康生活応援店事業の認知度を上げるための新たな広報活動や認証店舗の取組状況を周知するため、ホームページの充実が求められているといえる。

### 2 府中市における取組及び当所からの支援

#### (1) 府中市における食育推進計画策定に向けた支援

府中市食育推進計画(以下「計画」という。)は平成20年3月に策定され、現在第2次計画(平成25年5月策定)により食育の推進に向けた取り組みが行われている。当所は府中市の計画策定の段階から、食育に関する情報提供など支援を行った。

<各計画の取組期間>

○第1次計画:平成20年度~24年度 ○第2次計画:平成25年度~29年度

#### (2) 健康生活応援店の認証店舗拡大に向けた取組

府中市の計画では認証店舗数の目標に加え、「食育の推進拠点」の整備も計画に位置付け、食育拠点施設(以下「食育推進レストラン」という。)の設置に取り組んでいる。

この食育推進レストランが平成28年2月に府中市民病院内に設置されるまでの経過を次に示すこととする。

### Ⅲ 府中市の食育推進レストラン設置までの支援状況

当所は、平成 25 年 11 月から平成 28 年 2 月に開業するまで 3 年にわたり、府中市の関係課と協議、支援を行った。

#### 1 府中市における運営基準の作成から事業者の公募まで

平成 25 年 11 月 モデルとなる既存の施設の情報収集を開始。

平成 25 年 12 月 府中市民病院の新築計画に合わせ、食育推進レストランの設置場所と運営基準を具体化させる（厚生課と連携して相談対応する）。

平成 27 年 6 月 事業者の選定に向け、一般公募を実施。

#### 2 当所における飲食店営業等の施設基準に係る指導助言

平成 26 年 1 月 食育推進レストランの厨房や客室の施設基準の審査、衛生管理に対する指導助言（衛生環境課と連携して相談対応する）。

平成 26 年 5 月 施設を障害者の就労支援施設として運営する案が出されたため、障害者総合支援法に基づく施設の設置基準の相談窓口として、県障害者支援課を紹介した。

### Ⅳ 食育推進レストランの取組及び運営状況

#### 1 店舗の名称「食 Navi レストラン こもれび」

食育推進レストランとして「健康への案内所」の役割をもたせている。

栄養士が献立を作成し、栄養のバランス（炭水化物、たんぱく質、脂質の割合）に配慮した定食の提供と合わせ、食事を中心とした健康情報を発信している。

#### 2 定食のメニュー名とコンセプト

##### (1) スマート定食

野菜の量を 100 ㉫以上摂取できるメニュー。エネルギーを控えめにしたい方に。

##### (2) プラチナ定食

高齢者はたんぱく質が不足しがちです。低栄養を防ぐための献立の参考に。

##### (3) 給食献立（食育の日に合わせて実施）

毎月 19 日の週に教育委員会や保育所主管課と連携し、府中市内の学校や保育所給食で子どもたちに人気のあったメニューを提供する。

#### 3 健康づくりを支援する情報の提供

食育推進年間計画を作成し、健康情報を定期的に発信している。店舗内の掲示、レシピの配布などを活用し広報活動している。

#### 4 『塩分カットばせ！応援店』の認証

平成 28 年 5 月、「塩分控えめ推進・応援店」として認証を受ける。

#### 5 利用者の増加に取り組むためのニーズ調査（アンケート）の実施

(1) 実施期間 平成 28 年 10 月 1 日（土）～2 日（日）

(2) 調査対象 「市民健康&福祉まつり 2016」の参加者

(3) 調査方法 アンケート（自己記入式）用紙を会場で配布及び回収

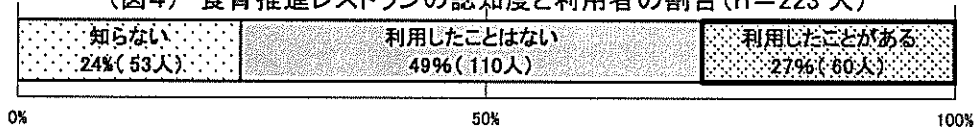
(4) 回答者数 225 人

(5) 結果及び考察

##### ア 食育推進レストランの利用状況（図 4）

回答者のうち、利用経験者は 27%（60 人）であった。「聞いたことはあるが利用したことがない」と回答した者は約半数の 49%であった。

（図 4）食育推進レストランの認知度と利用者の割合（n=223 人）



## イ 利用者の満足度 (図5)

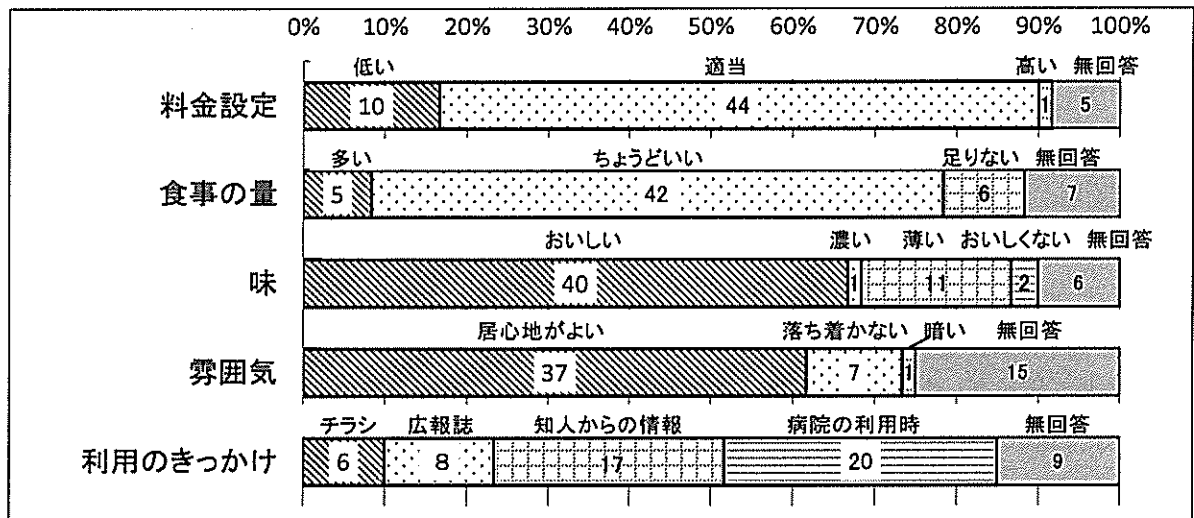
「料金設定は適当」、「食事の量はちょうどいい」、「味はおいしい」、「雰囲気は居心地がよい」と回答した者がいずれも60%以上であった。

## ウ 利用者の増加に向けて

利用者は女性が56%を占め、年齢は60歳以上の利用者が60%であった。

利用のきっかけが「病院の利用時」と回答した者が1/3を占めたことから、食事だけでなく喫茶店利用など、コミュニケーションを目的に利用していただけるような広報活動が必要になると考える。

(図5) 利用者の満足度(n=60人)



## V まとめ

### 1 健康生活応援店の認証における新たな取組

この取組は既存の飲食店に対する働きかけによる健康生活応援店の認証という従来の方法ではなく、自治体が認証基準に合わせた食育推進レストランを設置することから始めた新しい取組である。

圏域では「福山・府中地域食育推進圏域連絡会議」を定期的開催しており、各自自治体の食育推進計画の策定段階から情報共有ができるという連携体制をとっている。

府中市では食育推進計画の策定から推進において、健康医療課に所属する栄養士が担当者として、関係部署との調整を行っている。

### 2 栄養士による食育推進レストランへの支援状況

府中市の栄養士は、定食メニューの作成や健康情報を提供する掲示物やリーフレットの作成など、食育推進レストランの運営や広報活動に大きく関わっている。開業から半年以内に健康生活応援店の認証に至ったのは、栄養士の支援を継続的に得られるという環境整備ができてきているからであると考えられる。

### 3 食育の情報発信基地としての役割

食育推進レストランの役割として、今後さらに健康づくりの情報発信を行う場所、食育活動の場として活用されていくようになれば、利用者同士のコミュニケーションの活性化が進み、幅広い世代の利用者の拡大につながる可能性がある。

当所としては、引き続き、この食育推進拠点施設の運営をモデルとし、健康生活応援店事業の推進及び認証拡大に向けた新たな展開を検討していく。



# 新しい府中市民病院が完成！

2月1日から、新しい病棟で診療を開始します。皆さまの健康な生活をしっかり支えます。

一昨年6月から工事を進めていた、地方独立行政法人府中市病院機構府中市民病院の改築工事（病棟部分）が12月末に完成しました。今日は、府中市民病院地域医療連携室の三浦看護師長にご案内いただき、一足先に皆さんに病院の中をご紹介します。

問い合わせ先 府中市民病院地域医療連携室（☎45-3300）  
府中市健康政策室（☎43-7210）

まずは、1階です。受付窓口も今までより分かりやすく機能的になっています。特に高齢者の医療や介護などについての総合相談窓口が新設され、病院内で相談ができます。また、地域包括支援センター・サブセンターと、私が所属する地域医療連携室や訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所が緊密に関わりあうことで、安心した生活をサポートします。

三浦さん



1階には、内科や外科など外来の患者さんのための診察室や救急処置室、人間ドックも受診できる検査室などがあります。また、改築を機に、MRIやCT、電子カルテシステムなど最新の機器を備え、多様な医療ニーズに応えられるようになりました。



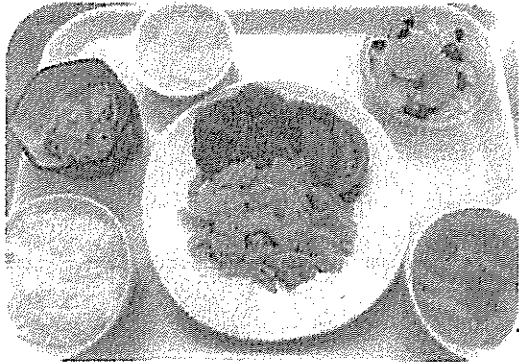
府中市民病院を支える会 会長 道路岩巳さん

新しい病院を見て大変感激しています。府中市民病院と介護などの施設が一体となった「福祉のまち」となって、安心した生活が続けられるよう期待をしています。私たち住民も大切な病院を応援するような活動をしていきたいと思えます。

ここは、とことん健康にこだわった食事が、だれでも味わえるレストラン「こもれび」です。美味しく食べて健康な生活を。季節のイベント料理も楽しみにしてください。



# 食事の種類

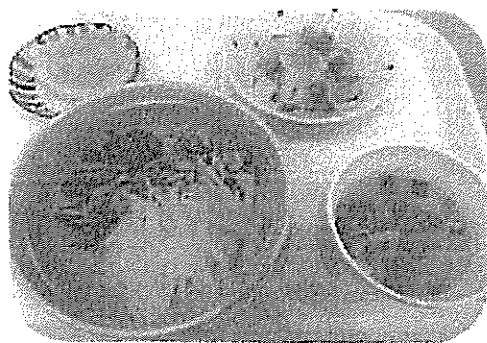
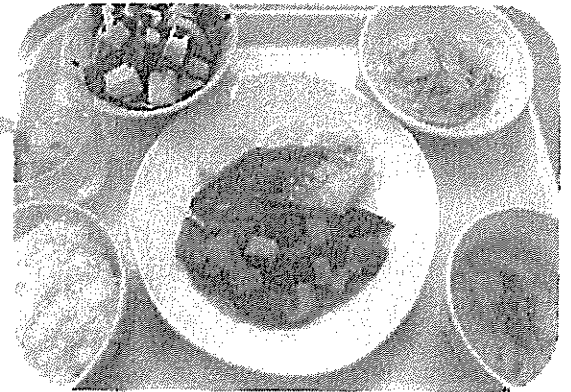


## スマート定食

生活習慣病を予防するため、食物繊維を多く摂取できるよう野菜を多く、1回使用量は100g以上使用するように心がけています。  
(カロリー 500~600kcal)

## プラチナ定食

高齢者を対象とし、高たんぱく食を基本とした献立になっています。  
(カロリー 600~700kcal)



## 給食献立

毎月19日を食育の日として、学校給食・保育所給食で実際作られている献立を19日の週にスマート定食の代わりに出します。

定食600円です。

「食Naviレストラン こもれび」はバランスの良い健康定食を食べていただき、食の情報提供など健康への案内所としての役割を持たせています。

定食のメニューは健康医療課で出しています。

問い合わせは健康医療課  
(Tel47-1310) まで

